

阿蘇における地殻変動観測と 活動推移について

大倉敬宏（火山研究センター）

研究集会:「阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気
爆発を理解する」

於 熊本大学教育学部

2017.02.27

水準+GPS まとめ（2008年以降）

- 長期変動から推定される昭和初期のマグマ蓄積量は、現在の蓄積量より 10^7m^3 程度多い
- 2015年9月の水蒸気噴火の前にもマグマ溜まり膨張に対応する地殻変動が観測されていた
- 2016年10月の爆発的噴火の前にもマグマ溜まり膨張に対応する地殻変動が観測されていた。しかし、熊本地震の余効変動との見極めが困難であった。